

2025 年度 比治山大学「こども家庭ソーシャルワーカー指定研修」実施要項

1 目的

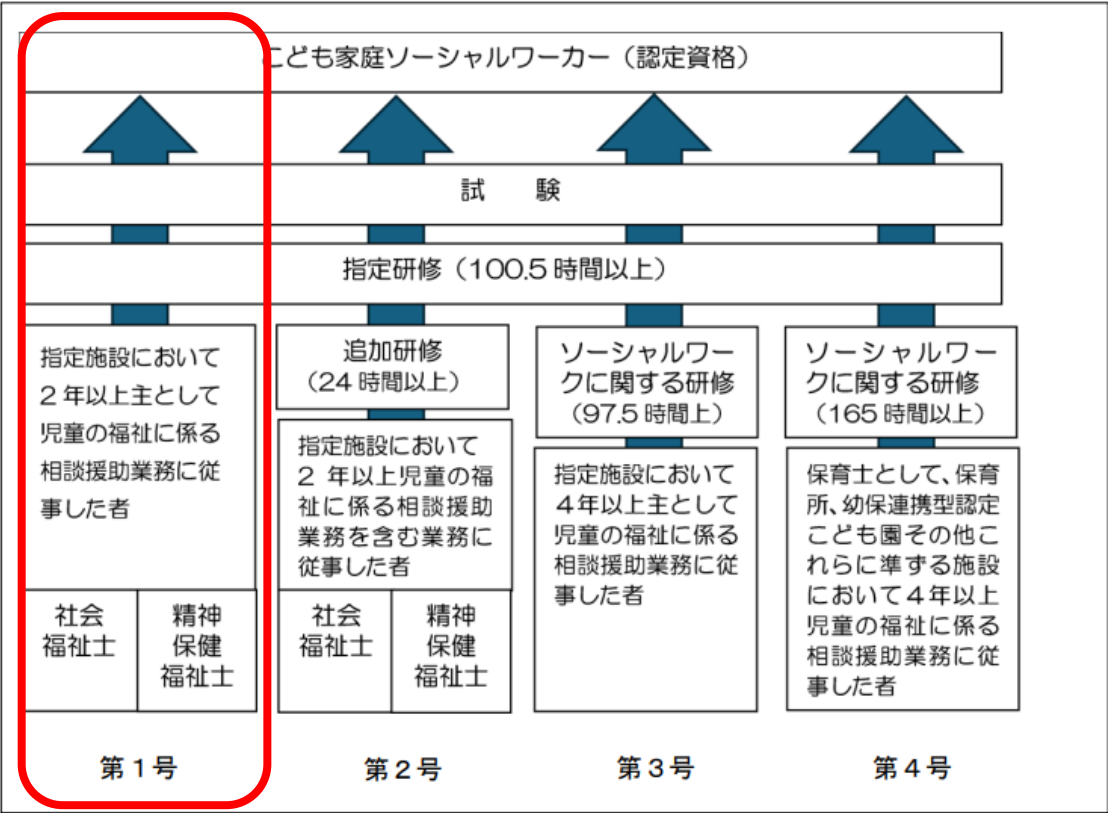
こども家庭庁の管轄により 2024 年度から設立された認定資格である「こども家庭ソーシャルワーカー」の認定資格研修を本学で実施し、こども家庭福祉に係る実務者の専門性向上を支援するとともに、地域社会の福祉の向上を図ります。

2 認定試験の受験資格を得るための研修ルート

本学の指定研修は、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の取得に必要な研修として、一般財団法人日本ソーシャルワークセンターから認定されているものです。

本学の研修においては、「第 1 号」の要件を満たすことが必要です。

※社会福祉士又は精神保健福祉士として、指定施設において 2 年以上主として児童の福祉に係る相談援助業務に従事した者



3 実施内容

研修区分：指定研修【研修認定番号：2025-1-09】〈講義 33 時間+演習：67.5 時間〉

研修期間：①講義：オンデマンド

日程：2025 年 8 月 1 日(金)から 2026 年 1 月 31 日(土) 実施期間中何度でも
視聴可能ですが、対面演習受講前にご視聴ください。

備考：早稲田大学が 2024 年度に作成したオンデマンド教材

【研修認定番号：2024-1-09（早稲田大学）】を使用しています。

②演習：全て参集型の対面演習（9 日間）（オンライン参加不可）

日程： 2025 年 8 月 9 日(土)～2025 年 8 月 11 日（祝日）（3 日間）

2025 年 9 月 3 日(水)～2025 年 9 月 8 日(月)（6 日間）

申込期間：2025 年 7 月 1 日（火）～7 月 31 日（木）

※申し込みのキャンセルはできかねますのでご了承ください。

※事前に研修管理システム（マナブル）を利用した、一般財団法人日本ソーシャル
ワークセンターの受講要件の確認申請を行ってください。

研修管理システム（マナブル）URL⇒<https://jswc.manaable.com/signup>

※研修管理システム（マナブル）の操作方法の問合せについて、本学では対応して
おりませんので、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格特設サイト内の【マナ
ブルヘルプページ】をご参照ください。

会 場：比治山大学（広島県広島市東区牛田新町 4 丁目 1 - 1）

3 号館 4 階 03402 講義室

研修定員：40 名（最小催行人数 5 名）

※先着順で募集いたします。定員が埋まり次第、募集を締め切らせていただきま
す。

受講資格：社会福祉士または精神保健福祉士として、指定施設において 2 年以上主として児
童の福祉に係る相談援助業務に従事した者。

受講費用：22 万円（税込み）

※受講決定後の返金はありません。

※比治山大学から受講決定通知が届きましたら、指定口座に指定期日までにご入
金ください。

※恐れ入りますが、振込手数料は受講者様のご負担でお願いいたします。

4 研修履修の認定

本研修において指定された講義及び演習の全科目を受講し、遅刻及び早退がない者に対して履修の認定をします。

5 昼食

研修期間中は、食堂・売店が営業を休止しているため、各自昼食をご持参ください。

3号館の2階以外は飲食可能で、館内をご利用いただけます。また、1・2・4階に飲み物の自動販売機があります。

6 駐車場

学内駐車場を利用することができます。

7 研修に関する問合せ先

比治山大学 学長課 gakucho@hijiyama-u.ac.jp

8 研修の日程

対面演習研修の初日の8月9日はオリエンテーションを行いますので、8:50までにご出席ください。最終日の9月8日は演習の後、諸連絡があります。

コマ	内容	時間
※ 8/9のみ	<u>オリエンテーション</u>	8:50-9:00
1コマ	演習	9:00-10:30
2コマ	演習	10:40-12:10
3コマ	演習	13:00-14:30
4コマ	演習	14:40-16:10
5コマ	演習	16:20-17:50
※ 9/8のみ	<u>諸連絡</u>	17:50-18:00

9 研修内容

2025年度 こども家庭ソーシャルワーカー指定研修(演習・対面)

月日	曜日	コマ	演習指定科目名	講師
8月9日	(土)	1. 2	こどもの権利擁護 (演習)	西南学院大学 社会福祉学科 准教授 栄留里美
		3. 4. 5	児童虐待の理解 (演習)	西日本こども研修センターあかし センター長 藤林武史 比治山大学短期大学部幼児教育科 准教授 鶴田智子
8月10日	(日)	1. 2. 3. 4. 5	こども家庭福祉とソーシャルワークⅠ (多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク) (演習)	比治山大学短期大学部幼児教育科 准教授 鶴田智子
8月11日	(月) 祝日	1. 2. 3. 4. 5	こども家庭福祉とソーシャルワークⅢ (地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築) (演習)	同志社大学心理学部 客員教授 八木安理子
9月3日	(水)	1	こどもの心理的発達と心理的支援 (演習)	比治山大学短期大学部幼児教育科 講師 松島暢志
		2	こども家庭福祉Ⅳ (行政の役割と法制度) (演習)	ひかり総合法律事務所 元広島市児童相談所嘱託弁護士 平谷優子
		3. 4. 5	こどもの権利擁護 (演習)	比治山大学短期大学部幼児教育科 准教授 鶴田智子
9月4日	(木)	1. 2. 3. 4	こども家庭福祉分野のソーシャルワーク専門職の役割 (演習)	比治山大学短期大学部幼児教育科 准教授 鶴田智子
		5	保育 (演習)	比治山大学短期大学部幼児教育科 講師 児玉理沙
9月5日	(金)	1	こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎 (演習)	比治山大学短期大学部幼児教育科 教授 七木田方美
		2	少年非行 (演習)	広島法務少年支援センター(広島少年鑑別所内) 地域非行防止調整官 石木道世
		3. 4. 5	社会的養護と自立支援 (演習)	office beech 代表 広島県教育委員会 宮原浩智
9月6日	(土)	1	貧困に対する支援 (演習)	広島県教育委員会 保育ソーシャルワーカー酒井珠江
		2	教育 (演習)	広島県教育委員会 保育ソーシャルワーカー酒井珠江
		3	こども家庭福祉Ⅰ (こども家庭をとりまく環境と支援) (演習)	広島県教育委員会 保育ソーシャルワーカー酒井珠江
		4. 5	こども家庭福祉Ⅱ (保護者や家族の理解) (演習)	広島県教育委員会 保育ソーシャルワーカー酒井珠江
9月7日	(日)	1. 2. 3	こども家庭福祉とソーシャルワークⅣ (組織の運営管理) (演習)	大分大学福祉健康科学部 講師 河野洋子
		4. 5	こども家庭福祉Ⅲ (精神保健の課題と支援) (演習)	office beech 代表 広島県教育委員会 宮原浩智
9月8日	(月)	1. 2. 3. 4. 5	こども家庭福祉とソーシャルワークⅡ (こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク) (演習)	広島県西部こども家庭センター 育成課長 児玉彩奈

※時間割

コマ	1	9:00-10:30
	2	10:40-12:10
	3	13:00-14:30
	4	14:40-16:10
	5	16:20-17:50

2025年度 こども家庭ソーシャルワーカー指定研修（講義・オンデマンド）

※演習の講師は、一部変更や追加となる場合があります。

指定科目名	講師
01: こどもの権利擁護	長瀬正子（佛教大学）
02: こども家庭福祉分野のソーシャルワーク専門職の役割	徳永祥子（立命館大学・早稲田大学） ＜安發明子（在パリソーシャルワーカー養成校AFRIS顧問）＞
03: こども家庭福祉Ⅰ （こども家庭をとりまく環境と支援）	姜 恩和（目白大学）
04: こども家庭福祉Ⅱ （保護者や家族の理解）	高林 学（龍谷大学） 遠藤朋子（徳島県中央こども女性相談センター） 三木 馨（西日本こども研修センターあかし）
05: こども家庭福祉Ⅲ （精神保健の課題と支援）	加藤 雅江（杏林大学）
06: こども家庭福祉Ⅳ （行政の役割と法制度）	鈴木秀洋（日本大学）
07: こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎	上野昌江（四天王寺大学） 三木崇弘（高岡病院 医師） ＜有村大士（日本社会事業大学）＞
08: こどもの心理的発達と心理的支援	増沢 高（子どもの虹情報研修センター）
09: 児童虐待の理解	岩佐嘉彦（いぶき法律事務所 弁護士） ＜杉山 春（ルポライター）＞
10: 少年非行	堀井智帆（元福岡県警少年育成指導官）
11: 社会的養護と自立支援	上鹿渡和宏（早稲田大学） 永野 咲（武蔵野大学）
12: 貧困に対する支援	李 炯植（Learning for All）
13: 保育	宮本雄司（早稲田大学） 澤田佐知子（社会福祉法人あゆみの会） 萩原康子（社会福祉法人あゆみの会）
14: 教育	岡安朋子（早稲田大学） 中條桂子（昭和女子大学） 時田綾子（中野区）
15: こども家庭福祉とソーシャルワークⅠ （多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク）	畠山由佳子（神戸女子短期大学） 藤林武史（西日本こども研修センターあかし）
16: こども家庭福祉とソーシャルワークⅡ （こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク）	久保樹里（日本福祉大学） 渡邊 直（千葉県中央児童相談所）
17: こども家庭福祉とソーシャルワークⅢ （地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築）	橋本達昌（児童家庭支援センター 一陽） 八木安理子（同志社大学）
18: こども家庭福祉とソーシャルワークⅣ （組織の運営管理）	中垣真通（子どもの虹情報研修センター） 市原真記（静岡県中央児童相談所）

※所属は2024年度当時の所属名です。

＜＞：ゲストスピーカー